

## 【基本目標1】-【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	1 子ども・子育てに関する情報提供	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆「多摩区地域子育て情報BOOK」の作成(5,000部) ◆多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を「多摩区こそだてweb」へ掲載 ◆子育てアプリによる情報発信(39件)  <b>【地域支援課】</b> ◆母子健康手帳交付時や転入手続き来所時等に多摩区地域子育て情報BOOKを配布。  <b>【保育所等・地域連携担当】</b> ◆毎月1回「子育てのワンポイント」を発行し、子育てに有益な情報提供をHPでは毎月、紙媒体は区役所に配架するなどPRにも努めました。 ◆保育所等での地域支援情報を掲載した「たまっ子ノート」を4,000部作成し、子育て中の親子に配布すると共に毎月の情報を「たまっ子カレンダー」に掲載し、HP等で最新の情報を届けるようにしました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆毎年新たな情報等を加えて更新し、母子健康手帳交付時や乳幼児家庭の区内転入者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布した。社会環境・労働環境等の変化に伴い、子ども・子育て世帯にとって必要な支援も複雑化し、情報の収集・発信媒体も多様化しているため、区ホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しました。  <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆新生児訪問指導員からは、情報が分かりやすくまとまっているため、保護者と話をする際に活用している、という御意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成	
		2 子ども・子育てに関する講座の開催	<b>【地域支援課】</b> ◆子どもとの接し方に悩む親を対象に「ちゅーりっぷセミナー」を毎月1回開催。参加延人数104組/実数69組(4月～11月)、月平均13組。事業開始3年目。参加した親子に必要時、地区担当保健師や他の相談等を紹介しました。  <b>【保育所等・地域連携担当】</b> ◆「保護者の気持ちに寄り添う支援とは」と題して講師に依頼し実施。対面での参加が15名。オンラインでの参加が14名。録画受講が23名。	<b>【区役所の評価】</b> ◆「ちゅーりっぷセミナー」では、子どもの発達を促す関わり方や語りかけ方についての講話や実技を行い、地域における育児をサポートしています。 ◆各地域子育て支援センターで出前講座を行うことで、参加者同志で育児の悩みを共有し、近隣親子との交流により地域への関心を持てるようにサポートしています。		3 目標を ほぼ達成
		3 地域における精神保健福祉の普及啓発	<b>【高齢・障害課】</b> ◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会(年1回)は「若者、思春期、青年期のメンタルヘルス」をテーマとし、会場での開催を予定していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会場での開催は見合わせ多摩区チャンネルを活用したオンライン配信を行い、312名の方が視聴されました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会場での開催ではなく、多摩区チャンネルを活用しオンラインでの配信となりましたが、事前に申込をいただいた方だけではなく、メンタルヘルスに興味関心がある方に広く普及啓発を図ることができました。		

【基本目標1】-【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	4 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA」を発行(10月、2月各5,000部)《新規》 ◆区役所アトリウムでの「地域包括ケアシステム」に関するパネル展示の実施(11月、2月) ◆生田小学校3年生へのZOOMを活用した地ケアに関する授業実施(11月17日、25日) ◆生田小学校3年生が作成した地ケアに関するポスター等を生田出張所で掲示(2月28日～3月18日) ◆市政だより多摩区版特集記事の掲載(1月号) ◆区民課番号表示モニターでの普及啓発画像の放映(令和4年3月、4月)	<b>【区役所の評価】</b> ◆地域包括ケアシステムに係る地域活動を行う団体へのインタビューを中心とした紙面づくりを行い、具体的な地域活動をイメージしやすく、身近に感じられる広報誌を作成した。また、多摩区内の私鉄沿線駅や郵便局に配架先を拡大するとともに、2回のパネル展示でも配架を行った。広報誌とボールペン、ポケットティッシュ等の啓発グッズをセットにし、手に取ってもらえるよう工夫した結果、広報誌を見た方から活動に参加したい旨の問い合わせが入るなどの反響が得られました。 ◆2回のパネル展示では、多摩区内5地区の取組の紹介の他、生田小学校3年生が作成した地ケアに関するポスターや健康づくりに関する掲示なども行い、多分野にわたる地ケアの取組について来庁者に広報することができました。 ◆生田小学校3年生への地ケアに関する授業を行い、授業で得た学びを子供たちがポスターにまとめ、そのポスターを区役所アトリウムや生田出張所で掲示し、子供たちをはじめ幅広い年齢層へ情報発信を行うことができました。 ◆市政だより多摩区版特集記事の掲載や、区民課番号表示モニターでの普及啓発画像の放映を通じて、不特定多数の区民に情報発信を行うことができました。 ◆手法や対象、発信場所等、様々な工夫を取り入れ、より多くの区民に情報発信することができました。 <b>【連携した団体・区民等からの評価】</b> ◆地ケアTAMAについて「地域内のことが分かりやすく掲載されているため、町会回覧して欲しい」といった意見が寄せられました。 ◆生田小での授業について、児童から、「地域でたくさんの活動が行われていることを初めて知りました」「地域のことをもっと調べてみたいです」などの感想をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		5 健康づくりのための情報発信、講座	<b>【地域支援課】</b> ◆禁煙週間(5月)、熱中症予防(6月～)肝臓週間(7月)、健康増進普及月間(9月)、乳がん啓発月間(10月)、世界糖尿病デー(11月)に併せてデジタルサイネージや庁内放送の活用、アトリウムの展示、市政だより、関係機関と連携した普及啓発等を行いました。 ◆総務課発信のシティマップナビタ(庁舎案内版)へ多摩区の健康づくり・介護予防に関する情報を掲載し、各公共施設や関係機関へ配布しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆生活習慣病予防に伴う普及月間に併せて、チラシや市政だより等の広報物、デジタルサイネージや庁内放送の活用、アトリウムによるパネル展示等での普及啓発を行いました。また、病院やいこい元気広場、生田緑地等各関係機関と連携した普及啓発に加えて、新たに企業と連携して個別での「肝臓の健康」にかかるチラシ配布(3,000部)も行えました。さらに、シティマップナビタに多摩区の健康づくり・介護予防に関する情報や高血圧予防への普及啓発も行いました。 ◆パネル展示を通してチラシ等を配架し、ポスター等で啓発したことで多くの方に手に取っていただき、追加配布しました。	3 目標をほぼ達成
		6 快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信	<b>【衛生課】</b> ◆どうぶつ愛護フェアinたま区(10月4日～8日)において、ペットの写真展を実施しました(応募数計40件)。例年、動物愛護ボランティアと協働で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から令和3年度は行政のみで実施しました。 ◆YouTubeを利用したペット防災啓発動画を配信しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆初めての試みとして市民からペットの写真を募集し、展示しました。来庁された応募者には、後日加工した写真と景品を渡しました。 ◆ペットの防災動画を作成し、広く市民が視聴できるよう啓発しました。	3 目標をほぼ達成
		7 地域コミュニティの活性化促進事業	<b>【地域振興課】</b> ◆多摩区町会連合会役員会の中に地域コミュニティの活性化促進委員会を設置し、町内会・自治会への加入促進を支援する広報媒体を作成しました。また、町内会・自治会の抱える課題の解決に向けた講演会等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みて、中止となりました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆3つの町内会・自治会を対象に、住民向けの広報媒体を作成したほか、地域を問わず広く活用できるチラシを作成し、町内会・自治会の役割を知ってもらったり、加入を呼びかけるなど、情報発信を行いました。また、加入促進やイベント等での参加者集めなど、町内会・自治会運営に役立つテーマを選定し、事例を通じて見識を深めるための講演会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、コロナ禍における地域活動の在り方が大きな共通の課題となることが再認識されました。	3 目標をほぼ達成
8 防災対策啓発事業	<b>【危機管理担当】</b> ◆多くの区民が災害時の備えや防災知識を習得することを目的に、楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」について、コロナ禍の影響により、令和4年1月31日、1階アトリウムにて来庁者向けにパネルを展示し、「マイタイムライン」の作成や、非常持出品セットの紹介、コロナ禍の避難所開設のイメージについて説明するとともに、非常食の取扱いの啓発のため、備蓄物資としてアルファ化米を200個配布しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆「防災フェア」は、多摩区自主防災組織連絡協議会主催で実施されていますが、コロナ禍の影響により、パネル展示の来庁者向け案内、備蓄物資等の配布を事務局で行いました。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆来庁者から、「平常時からの備蓄の大切さを再認識できた」などの声をいただきました。	3 目標をほぼ達成		

【基本目標1】-【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	9 多摩区健康フェスタ	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆健康フェスタ実行委員会(13団体が構成)を1回開催 ◆新型コロナウイルス感染症拡大のため、フェスタ形式での開催を中止。代替として、参加団体の活動紹介や健康増進への普及啓発をパネル展示、行政モニター放映、区HPへの掲載を通じて実施 ◆パネル展示:9団体が参加。9月22日～29日の期間、区役所1階アトリウムで実施 ◆行政モニター放映:4団体が参加。10月1日～31日の期間、放映。 ◆区HPへの掲載:9団体が参加。10月1日から掲載。	<b>【区役所の評価】</b> ◆事務局として、パネル展示の参加を希望する団体の取りまとめやレイアウト等の調整を行いました。また、令和4年度の開催形式について、各団体へアンケートを実施し、実行委員会で議論をするための資料づくり等の準備を進めました。 ◆行政として健康に関する情報発信及びアトリウムによるパネル展示での地域活動団体の紹介を行いました。	3 目標をほぼ達成
		10 たまたま子育てまつり	<b>【地域支援課】</b> ◆コロナ禍で健康に関する情報発信及び健康づくり・介護予防の取組み等をアトリウム展示で紹介し、区民の健康意識の向上とウォーキング等の団体の取組みを紹介しました。	<b>【連携した団体・区民からの意見】</b> ◆パネル展示実施後のアンケートでは、参加団体から「コロナ禍でイベントが中止となる中、パネル展示という手法で、情報の発信の場があることが有難い」等の御意見をいただきました。また、参加団体から、アトリウムによるパネル展示で新規参加者数の増加があったと成果報告がありました。 ◆区民の方から、配架したチラシについて「追加分を欲しい」という声をいただくほど、多くの区民に手に取っていただきました。	3 目標をほぼ達成
		11 多摩ふれあいまつり	<b>【生涯学習支援課】</b> ◆多摩区総合庁舎での開催(年1回、9月第3日曜日開催)予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月の実行委員会で中止を決定しました。 ◆市民と行政機関で構成された実行委員会を9回、参加団体説明会を1回開催 ◆子育てリーフレット「多摩区で子育て」4,000部発行	<b>【区役所の評価】</b> ◆毎年4月から1回程度実行委員会を開催し、新しい生活様式にのっとり、事前予約制、三密回避の徹底など工夫をして開催する予定でしたが、感染者数の増加が止まらず、8月の実行委員会で中止を決定しました。参加団体、申込者には文書で連絡し、ホームページにも掲載し周知しました。親子で参加できるイベントが各地で少なくなったため、3月に小規模なまつり「親子で楽しむ春の子育てミニまつり」を開催しました(45家族、180人参加)。たまたま子育てまつりを楽しみにしていた家族からも申込みがあり、参加者と出演団体とのつながりも生まれました。実行委員はミニまつりの実施に関わり、次年度のたまたま子育てまつりへ向け経験を積むことができました。 ◆子育て情報リーフレットを印刷し、地域支援課と連携して子育て世帯に配布しました。	3 目標をほぼ達成
		12 パサージュ・たま	<b>【生涯学習支援課】</b> ◆多摩区総合庁舎での開催(年1回、6月第2日曜日開催)。 ◆第20回多摩ふれあいまつりの実行委員会を9回、参加団体担当会議を4回開催。 ◆来場者約2,000人	<b>【区役所の評価】</b> ◆区内障害者施設、ボランティア団体、障害者本人・家族等が協力して、障害のある人への理解を深めるために開催。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。	3 目標をほぼ達成
12 パサージュ・たま	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆多摩区役所1階アトリウムで開催(年10回開催、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ◆多摩区ソーシャルデザインセンターで、作品の常設展示・販売を試行実施(12月1日～3月31日) ◆広報誌を区内障害者施設、区内小学校(4～6年生)、各町会に3部ずつ配布 ◆「パサージュ・たま」運営委員会を年1回開催(web会議)	<b>【区役所の評価】</b> ◆感染症対策を行いながら開催しました。当事者も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 ◆参加団体の展示・販売機会を確保し、さらなる障害への理解と関心を深めるため、多摩区ソーシャルデザインセンターでの常設展示・販売を試行実施しました。令和4年度についても、多摩区ソーシャルデザインセンターと連携し、広報の拡充に取り組みながら、継続実施していきます。 ◆隔年で作成している広報誌の配布先を新たに増やし、障害に関する活動の周知範囲を広げました。	2 目標を上回って達成		

【基本目標1】-【基本方針1 情報提供の拡充】、【基本方針2 地域で活躍する人材の育成】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	13 多摩区スポーツフェスタ	<p>【地域振興課】</p> <p>◆令和3年度においては、令和4年3月13日の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、中止としました。イベントの代替案として、開催種目の一部をYouTubeにて動画配信する「第9回多摩区スポーツフェスタ at home」を実施しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものです。</p> <p>◆今年度もバリンピック種目のブラインドサッカーの体験等の実施を予定し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じたうえで実施の準備をしていましたが、感染拡大状況を鑑みて、実行委員会と協議の結果、中止となりましたが、感染対策を踏まえた上での運用の検討や動画配信による代替手段の提供については、来年度以降、同イベントを実施する際にも生かしていけるものです。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <p>◆実行委員から、中止が決まり実地でスポーツを体験できなかった点は残念でしたが、今後に向けてイベントノウハウの継承を意識していきたいという声がありました。また、動画によりコロナ禍で手軽に運動できるきっかけになったという声もあがっています。</p>	3 目標を ほぼ達成	
		14 子育て支援者養成事業	<p>【地域ケア推進課】</p> <p>◆全9回にわたる子育て支援者養成講座を会場受講と録画受講を併用して実施(6月18日～10月15日 受講生合計59名)</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、会場受講生を録画受講に振替え、保育受け入れを中止することで、全9回の講義を当初の予定通り実施</p> <p>◆地域活動団体の紹介冊子を作成し全ての受講生に郵送</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨機応変に事業の実施手法を変更することで、様々な年齢層の多くの区民が受講できる環境を整えることができました。令和4年度は、受講生と地域活動団体とのつながりをつくるため、地域活動団体での実習等の手法を取り入れていく必要があります。</p> <p>【連携した団体・区民等の意見】</p> <p>◆受講生から、「子育てに関する仕事をいづれしたいと、以前より思うようになった」、「体系的に知識を学ぶことで、自信を持って活動を行えると感じた」といった御意見をいただきました。</p>	3 目標を ほぼ達成	
	15 中高生職場体験	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育園での職場体験の受け入れは中止になりました。</p> <p>◆代替事業として、1月から公立地域子育て支援センターを利用したボランティアの受け入れを計画し調整していたところ、緊急事態宣言発出となり実現できませんでした。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆次年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみて、引き続き実施できるように計画しています。</p>	3 目標を ほぼ達成		
	16 健康づくりを担う人材の育成	<p>【地域支援課】</p> <p>◆健康づくり・介護予防を担う地域の人材育成のため、食生活・健康づくりなどのボランティア養成講座を3日間1コースで開催予定でしたが、コロナ禍の蔓延防止期間中に中止しました。地域活動を担うボランティア学習会等の機会を通じて運動の効果や基本的な知識を学ぶように取組む学習会は、年1回開催し、新型コロナウイルス感染症の情報をテーマに入れ、予約20名定員参加あり。当日18名の参加がありました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆コロナ禍の蔓延防止期間中にボランティア養成講座は中止しましたが、すでに予約を受けていた方に対して希望するボランティア情報について聞き取りをし、郵送で案内を行いました。</p> <p>◆ボランティア学習会では、地域活動団体と直接地域活動に参加していない区民と顔のつなぎを行いました。その結果、地域活動の周知及び参加促進の機会となりました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <p>◆参加者の健康づくり活動への思いとして、健康づくりボランティアの活動を始めたい、今は参加したいがやがて地域でボランティアをやってみたい、ボランティア活動を見学したい、という回答も得られ、自宅でも継続したいというアンケート結果が得られました。</p>	3 目標を ほぼ達成		
	17 認知症に関する普及啓発	<p>【地域支援課】</p> <p>◆多摩区公立小学校を対象にした認知症サポーター養成講座、多摩区公立中学校を対象にした認知症講演会を計画しました。コロナ禍により、中止となったり、スケジュール調整に難航しましたが、小学校は11校、中学校は1校実施しました。区役所主催の認知症サポーター養成講座は実施、サポーターフォローアップ及びメイトフォローアップはコロナ禍により中止しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆コロナ禍で外部との関わりが少なくなったことから、講座、講演会を良い機会と捉えて協力してくださる学校が見られました。</p> <p>◆今年度全校実施できなかったことから、次年度に向け早めに学校に依頼しており、感染対策に留意しながら多くの学校での実施を目指す。多摩区認知症キャラバンメイト連絡協議会「たまのわ」において、地域に向けた普及啓発活動を広げていくことの必要性も言われており、今後は関係機関とも連携を取りながら、効果的な認知症普及啓発につなげていきたいと思えます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <p>◆実際に受講した児童・生徒からも、「認知症の方に優しく接したい」「地域の方が安心して生活できるようにしたい」といった感想が見られ、地域づくりが推進できました。</p>	3 目標を ほぼ達成		
	18 地域防災力強化に向けた取組	<p>【危機管理担当】</p> <p>◆「災害に強い街」の実現のために、次世代の防災リーダーとして活躍が期待される子育て世代への取組が必要であることから、子どもとその保護者が興味を持って気軽に参加しやすいプログラムを取り入れた「防災キャンプ」を令和4年3月19日実施し、延べ38名が参加されました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆当初、会場とWEBの2つの参加方法で募集を行いました。コロナ禍の影響により、WEBのみで実施しました。</p> <p>◆多摩区主催ではあるが、運営サポーターとして、多摩区こどもの外遊び交流委員会に協力いただきました。</p> <p>◆参加者からは、「子どもでも分かりやすい説明で、とても充実した時間でした」「言葉や画面の説明だけでなく、実践することができて本当に良かった」などの意見をいただきました。</p>	3 目標を ほぼ達成		
	【基本方針2】 地域で活躍する人材の育成	地域暮らし				
		防災				

# 【基本目標1】-【基本方針3 地域活動への支援】

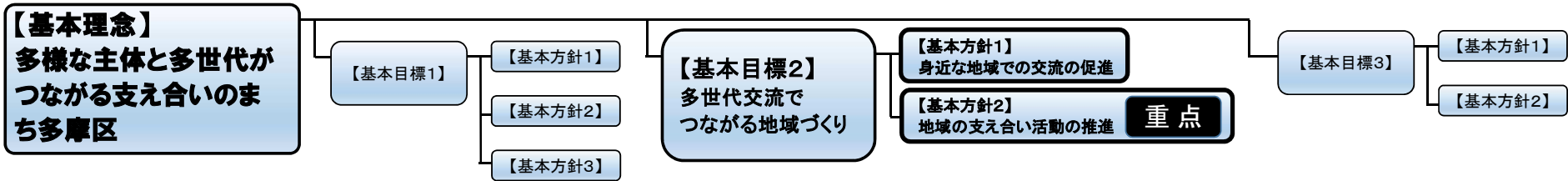
基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針3】 地域活動への支援	子ども子育て	19 多摩区こどもの外遊び交流事業	<b>【地域ケア推進課】</b> 《主催イベント》 ◆生田小学校下校庭「竹あそび水あそび」 7月18日開催 283名参加 生田出張所新庁舎オープニングイベントの一環として検温、名簿作成など感染症対策を講じながら実施 ◆生田小学校下校庭「思いっきり外遊び」 12月5日開催 398名参加 検温、名簿作成など感染症対策を実施 《共催イベント》 ◆二ヶ領用水の魚つかみ 9月5日開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ◆凧づくり、凧揚げ 1月10日開催 173名参加 検温、名簿作成など感染症対策を実施 ◆その他啓発事業、活動支援事業などを実施	<b>【区役所の評価】</b> ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局として、物品貸出等の外遊び団体の支援を通じ、地域活動を活性化させることができました。 ◆地域の子育てサロン等の集まる場が中止されていたためか、生田小学校下校庭「思いっきり外遊び」の参加者が昨年度より150名以上増加しました。 ◆子どもの権利条約フォーラムへの参加を通じ、他区のプレーパーク主催者との交流を深め、令和4年度に交流会を計画するなど、子どもの外遊びの推進に向け、事業を実施することができました。 <b>【連携した団体・区民等からの評価】</b> ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の委員からも、「コロナ禍でイベントが縮小する中、外遊びイベントを実施することができてよかった」、「イベントを通じて、子供だけでなく、親も一緒に体験を共有することが、親子のふれあいや成長につながる」等の御意見をいただきました。 ◆イベントを訪れた参加者のアンケートでは、2回以上、訪れたことのある参加者が30%を超えるなど、イベントが定着していることが分かりました。 ◆生田小学校下校庭の参加者からは、「毎月実施してほしい」という声をいただくなど、遊び場や外遊びのニーズがあることが分かりました。	3 目標を ほぼ達成
		障害	20 患者・家族会等のグループ支援	<b>【高齢・障害課】</b> ◆患者を対象としたデイケアプログラムを新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらの実施となり、当初計画(全21回)より1/3(計6回)の開催となりました。家族を対象とした家族教室は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。家族会は感染状況を見ながら開催しました(年2回)。	<b>【区役所の評価】</b> ◆患者を対象としたデイケアでは、患者のリハビリテーションとなるような様々なプログラムを実施しました。新型コロナウイルスの感染状況から家族を対象とした家族教室は中止となりましたが、家族会では意見・情報交換を参加者間で行ったことで家族同士の交流と支えの場となりました。	3 目標を ほぼ達成
		高齢者	21 老人クラブ育成事業	<b>【高齢・障害課】</b> ◆区老人クラブ連合会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、年間行事であるスポーツ大会、ゴルフ大会、ベタンク大会、ゲートボール大会、体力測定、いきいき体操、ダンスまつり等の健康づくりや趣味の作品展等のいきがいづくりに取り組みました。区や各地域包括支援センターでは、各種活動の周知に協力しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆コロナ禍で自宅に引きこもりがちなる区民が多い中であっても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、おおよそ年間行事の9割を実施することができました。それぞれの活動を通じて高齢者のいきがいと健康づくりが図られ、介護予防につながることであります。 ◆区や各地域包括支援センターでは、地域において重要な役割を担っている老人クラブが継続的に活動できるよう、いきいき体操への参加や行事等の周知協力等を通じて会員増強運動を支援しました。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆老人クラブ加入者からは、コロナ第5波が下火になった機を逃さず、創意工夫をこらして活動できたことを評価する声や、今後も感染防止策をきちんとして活動を継続していきましようという声がありました。	3 目標を ほぼ達成
		地域暮らし	22 健康づくりと地域参加	<b>【地域支援課】</b> ◆地域活動団体からは、地域活動ボランティアの高齢化やコロナ禍での運営として大変な面もあるが、生きがいづくりや地域の見守りの場にもなっているとの評価もありました。 ◆「多摩区みんなの公園体操」「多摩区いきいき体操」「多摩区地区ウォーク」「いこい元気広場」等、身近な地域で気軽に参加ができるよう普及啓発を実施し、活動を周知しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆行政としては、身近な地域で活動に参加していけるよう各関係機関と連携し、市政だよりや総務課発信のシティマップナビタ(庁舎案内版)への掲載、チラシを活用した広報の実施を行いました。また自主活動グループへの参加や地域に出向いた健康に関する普及啓発を行いました。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆地域活動団体からは、地域活動ボランティアの高齢化やコロナ禍での運営として大変な面もあるが、生きがいづくりになっているとの評価もありました。	3 目標を ほぼ達成
			23 多摩区食生活改善推進員連絡協議会の支援	<b>【地域支援課】</b> ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった月もあったが、地区定例会に年20回、運営委員会に年8回出席し、講話や情報提供、会員とともに活動内容の検討を行いました。9月に予定していた養成教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。 ◆会員自身は、調理を伴わない方法で地域における食に関する啓発方法を模索し、個人宅へのレシピ配布や、公園体操・いきいき体操での啓発、健康フェスタでのパネル展示等で普及啓発を行いました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、調理を伴う地域での活動が中止となっていたため、地域へ啓発の支援は減少しましたが、会員の資質向上の機会を持つことができました。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆会長から、「多摩区ソーシャルデザインセンターを活用して、協議会の宣伝や啓発をしたい」との提案があったため、来年度の実現に向けて、支援していきたいと思えます。	3 目標を ほぼ達成
			24 多摩区町会連合会等の支援	<b>【地域振興課】</b> ◆多摩区町会連合会等、団体の事務局運営を通じて、区内で抱える課題に対する要望事項の検討や個別の町内会・自治会間の意見交換を促すなど、地域団体の活動を支援しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆新型コロナウイルスの影響で、研修会など一部実施できなかった事業がありますが、概ね団体の年間計画に沿って活動を行うことができました。	3 目標を ほぼ達成

【基本目標1】-【基本方針3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】	【基本方針3】	防災 25 自主防災組織への運営支援	<b>【危機管理担当】</b> ◆各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を支給しており、15団体が利用されました。 ◆各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」をしており、24団体が利用されました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆会議等において、「令和3年度活動支援ガイド」を配布し、左記2つの制度のほか、自主防災組織が防災活動を行う上での支援等について説明を行いました。	3 目標を ほぼ達成
		その他 26 多摩区コミュニティ施策 区域レベル取組推進事業	<b>【企画課】</b> ◆「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を効果的に推進するため、多摩区ソーシャルデザインセンターの運営組織と締結した協定に基づいた運営支援(行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等)を実施。 《運営組織による主な取組は以下のとおり》 ◆多摩区ソーシャルデザインセンター事務所内にスタッフを配置し、相談受付を実施。 ◆地域活動を行っている団体に対する補助事業である多摩区地域コミュニティ活動支援事業(多摩区まちのひろば活動支援資金)の実施。 2つのコース(①私たちがやる! 上限10万円、②これを広めたい! 上限5万円)で募集を行い、令和3年度はコース①で3事業を選定。 ◆事務所でのイベントを通じた人材発掘や地域人材の情報登録受付による人材バンクの構築に向けた取組。 ◆地域の交流促進に向けたイベントの開催(「登戸・たまがわマルシェ」、「登戸・たまがわ運動会」等) ◆地域イベントへの参加・協力(「生田緑地⇄多摩川ピクニックラリー」、「登戸まちなか遊縁地」等) ◆コロナ禍の中で「パサージュ・たま」が規模を縮小して実施している状況を受け、出展団体への支援としてSDC事務所での作品の常設展示・販売を試行実施。 ◆フードドライブに係る活動への協力(企業からの相談を受け食品を地域の施設等に寄贈)	<b>【区役所の評価】</b> ◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」に掲げられた基本的機能に沿って、多様な主体の連携により、交流促進や地域活性化をはじめ、区民中心の運営組織主体の様々な取組が実施されました。  <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆令和4年3月に令和3年度の多摩区ソーシャルデザインセンターの取組についての活動報告会を実施。報告会の中で多摩区内の町内会・自治会等地域団体の方から、多摩区ソーシャルデザインセンターの主催イベントや取組の継続的な実施、活動範囲を区内全域に展開することを求める意見がありました。	3 目標を ほぼ達成
		27 市民活動支援事業	<b>【地域振興課】</b> ◆多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、活動の打合せや資料作成の場等を提供するとともに、登録団体から構成する運営委員会を年6回、全体会を年1回開催し、同施設を活用した団体間の交流、相互支援を促進しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆昨年度に引き続き、コロナの影響により市民活動全般の自粛・停滞があり、印刷機の印刷枚数が昨年度比では約48万枚から約55万枚に増加したものの、コロナ前の水準までの回復には至りませんでした。一方で、利用登録団体数は192団体から210団体に約1割増加していることから、本事業が市民活動の支援につながっているものと考えます。  <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆運営委員からは、印刷枚数が増加傾向にあることを歓迎する一方で、年1回の全体会の後に行っている団体間の交流がコロナ禍により実施できていないことを残念に思う声が挙げられています。	3 目標を ほぼ達成

【基本目標1】-【基本方針3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針3】 地域活動への支援	28 磨けば光る多摩事業  その他	<p>【企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域課題の解決や安全で安心・賑わいのある暮らしの実現に向け、自主的、主体的に実施する公益性の高い活動を、地域の団体と協働で取り組みました。</li> <li>◆令和3年度については、提案された4事業の中から審査会を経て、2事業を選定し実施。</li> <li>◆各事業について、区HPや市政だより区版で広報を行いました。</li> </ul> <p>《採択事業(2事業)》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.第2回多摩インクルージョンセミナー&amp;ワークショップ～障がい児とそのご家族の為にスクールフェス～(2日間開催:12月12日、19日)</li> <li>◆区役所会議室や市民館の施設を会場として、ダンスやアート、パレオなどの様々なワークショップを開催。</li> <li>◆参加者数:12月12日(30人)、19日(27人)</li> <li>※2月中にイベント当日の様子を録画した動画をYouTubeに掲載し、団体HPと区HPでURLを掲出</li> <li>2.仮想集落トカイナカヴィレッジ発信!多摩区を知る・学ぶ・食べる ワクワク体験</li> <li>◆新型コロナウイルス感染症拡大(第6波)の影響により、各イベントの規模縮小が余儀なくされ、一部イベントが中止となりました。</li> <li>◆各イベントでは、対面だけでなくオンライン(Zoom)も活用し、複数地域から参加している人達がつながるイベントとなりました。</li> <li>◆各種イベント:地縁をテーマにしたオオカミの護符上映会(2月27日22人参加(オンライン参加者含む))、SDGs山の体験(3月6日38人参加(オンライン参加者含む))</li> </ol>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆提案団体との協働により、対面での取組だけではなく、オンライン(Zoom)を活用した取組も実施でき、地域課題の解決や賑わいと魅力のある暮らしの実現に向けた事業が実施されました。</li> </ul> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実際に各事業(イベント)に参加された市民などからは、「コロナ禍で対面のイベントが減っている中、地域の人達と交流ができて良かった」、「子どもと一緒に楽しめた」、「イベント会場に行けなくて(行かなくても)、オンライン(Zoom)で参加ができ、非常に有意義な時間を過ごせた」、「地縁に関する上映会に参加し、地元に興味を持つきっかけとなった」などの声がありました。</li> <li>また、実施団体からは「コロナ禍の状況により、一部イベントの規模縮小や中止などを余儀なくされ、実施内容の工夫や調整が大変であったが、オンラインを活用することで活動の幅が広がった」、「コロナ禍が落ち着いてきたらオンラインでつながることができた人達と実際に対面でも交流したい」などの感想がありました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
		29 市民自主学級・市民自主企画事業	<p>【生涯学習支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民団体が提案した企画事業(2事業)を行政と協働で実施</li> </ul> <p>《企画事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生のためのリズム体操とダンスの基礎講座</li> <li>8月に開催予定だったものを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期し、3月に全3回開催</li> <li>参加者:延べ29人</li> <li>○地域の居場所づくりを目的としたカフェ運営講座と運営</li> <li>講座を10～11月に3回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> <li>カフェの運営は12月～2月に計6回開催予定だったが、新型コロナウイルス拡大防止のため、12月～1月に3回開催</li> <li>参加者:延べ25人</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目線で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。行政としては、資金を委託料として提供したり、効果的な広報方法や会計処理など講座がスムーズに運営できるように支援しました。</li> <li>◆今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めたいと思います。</li> </ul> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆カフェ運営については、参加者から「そこに行けば誰かに会える」「こんな場を待っていた」という声をいただきました。主催団体からは、コロナ禍の中でも、地域の「居場所」、人と人が出会い、話せる、交流できる場所をつくる目標に少しは近づけたかなと思うといった感想がありました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成



**【基本目標2】—【基本方針1 身近な地域での交流の促進】**

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標2】 多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針1】 身近な地域での交流の促進	子ども子育て	30 子育てサロン・子育てひろば	<b>【地域支援課】</b> ◆多胎児の親子を対象に「ぶよぶよザウルス」を毎月開催予定でしたが、感染拡大のため中止やキャンセルがあり、年8回実施。毎月4～7組参加。 ◆35歳以上の初産婦対象に「このとり」を毎月開催予定でしたが、感染拡大のため8月・9月、1月～3月は中止。参加者は計63組/年、平均10.5組。 ◆近隣に住む親子の情報共有や交流を目的として、子育てサロン「長沢ママ'sサロン」「長尾親と子の広場」を毎月開催。感染拡大のため8月・9月は中止。 ◆各地域子育て支援センターにおいて、地区担当保健師がニーズの高い「卒乳の話」を地域に出向いて出前講座を行いました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆「ぶよぶよザウルス」「このとり」「長沢ママ'sサロン」「長尾親と子の広場」に参加することで、区内で子育てをしている親同士で支えあいながら、安心した育児ができるように支援しました。	3 目標を ほぼ達成
			31 子育てひろば・外国人の子育てひろば	<b>【保育所等・地域連携担当】</b> ◆登戸、宿原、生田エリアの3か所毎月開催予定でしたが、感染拡大のため中止やキャンセルがあり年19回実施しました。計145名参加。子育て中の母同士が知り合える場になり、特に宿原地区は支援センター等が近くにない為、感染防止に努めながら8月を除き一年を通して開催しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆5回終了後も親子が地域の場所や人につながることで、子育て中の親子が孤立しないように支援を続けることができた。母だけでなく子どもにとっても家庭以外の場でさまざまな人に触れることでより良い育ちにつながっています。	
			32 身体測定・遊びの広場	<b>【生涯学習支援課】</b> ◆「子育てひろば」 就学前の子どもと親が自由に交流するフリースペースを実施(毎月第2・4火曜午前)。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月は中止。定員の上限を設け、定期的な換気や手指の消毒等の徹底した対策を講じ、17回開催。参加者:延べ282組566人。 ◆「外国人の子育てひろば」 外国人の親子が自由に交流するフリースペースを実施(毎月第2金曜午前)。定員の上限を設け、定期的な換気や手指の消毒等の徹底した対策を講じ、11回開催。参加者:延べ75組150人。	<b>【区役所の評価】</b> ◆子育て支援ボランティアグループの協力のもと、通年で開催しているため、広く区民に知られるようになりました。刻々と変化する新型コロナウイルス感染症の状況下、三密対策の徹底の対策を講じながら、安心して参加できる親子の居場所になりました。今後も人と地域の繋がりを大切にする交流の場の提供に努めたいと思います。	
			33 多摩区子育て支援パスポート事業	<b>【保育所等・地域連携担当】</b> ◆少人数、予約制等の感染対策を講じて身体測定を実施。生田保育園室内開放時には毎月15日以降いつでも来所時に身体測定ができることを案内すると毎月7組～10組程度希望があり実施しました。 ◆公立保育園主催の遊びの広場はオンラインで実施しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆コロナ禍になり身体測定のニーズが高まっていたため、室内開放時に身体測定を実施したところ、毎月定期的に計測する利用者が増え、好評でした。 ◆各エリアごとに遊びの広場を実施したことで、地域の親子が遊び場へ出るきっかけになり、同じ地域に住む子育て中の母同士が知り合える場になりました。	
33 多摩区子育て支援パスポート事業	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆発行数2,028枚 ◆協賛登録数(10商店会、75協賛店、3公共施設) ◆協賛店の確認、協賛店ガイドの更新(3月 3,500部) ◆多摩区子育て支援パスポートカードの改訂及び発行(3月 5,000部) ◆例年参加していた「たまたま子育てまつり」や「中野島音楽祭」などのパスポート普及活動は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	<b>【区役所の評価】</b> ◆「多摩区子育て支援パスポート」を発行することで、商店街に行くきっかけづくりとなり、地元商店街等による子育て世帯への声かけや交流が行われました。また、協賛店ガイドをじゃばら折りにし、持ち運びしやすいA5サイズに変更するなどの見直しを行いました。 ◆多摩区商店街連合会と当事業の普及啓発に向け、各商店街でのイベントや地域で活動されている団体と連携した新たなイベントの企画を進めました。	3 目標を ほぼ達成			
33 多摩区子育て支援パスポート事業	<b>【区役所の評価】</b> ◆各商店街のイベントでの普及啓発や、地域で活動されている団体と連携した新たなイベントの企画を計画するなど、コロナ禍でイベント等の機会が縮小する中、当事業の普及啓発に取り組みたいという声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成				
33 多摩区子育て支援パスポート事業	<b>【連携した団体・区民等の意見】</b> ◆参加者からは親同士が交流できる場が少なくなっている中で開催している所を探して参加したとの声がありました。直接会の参加者と交流できて良かったとの感想が聞かれました。			3 目標を ほぼ達成		

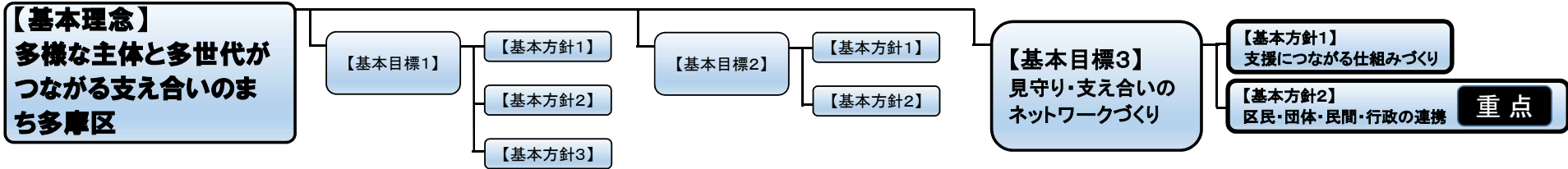


## 【基本目標2】-【基本方針1 身近な地域での交流の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標2】 多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針1】 身近な地域での交流の促進	障害	34 障害者と地域住民の交流の場「障害者社会参加学習活動」	<b>【生涯学習支援課】</b> ◆多摩市民館障がい者社会参加学習活動「青年教室」として、全10回の活動を実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として活動時間を短縮し、時間帯・日付を分けて活動。個人の活動は5回。打ち合わせを8回実施。	<b>【区役所の評価】</b> ◆地域のボランティアの方々と企画し、青年メンバーの社会参加を支援できました。生きがいづくり、人と人との交流促進と顔の見える活動を通じ学習機会提供を行えました。	3 目標を ほぼ達成
		35 地域のサロン等への支援	<b>【地域ケア推進課・地域支援課】</b> ◆地域のサロンについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのサロンが中止になったことから、逐次、状況把握を行いました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのサロンが休止したため、再開に際して相談があったときに支援ができるよう体制を整えました。また、コロナ禍で育児不安や負担感が増強した親については個別対応等で支援をしました。 ◆各地域子育て支援センターで出前講座を行うことで、参加者同志で育児の悩みを共有し、近隣親子との交流により地域への関心を持てるようにサポートを行いました。	3 目標を ほぼ達成	
		36 既設公園リフレッシュ事業	<b>【道路公園センター 整備課】</b> ◆三田第2公園管理通路整備工事(管理通路の新設)を実施。	<b>【区役所の評価】</b> ◆工事にあたり、公園管理運営協議会と調整を図りながら事業を推進しました。協議会等の管理の促進に貢献しています。	3 目標を ほぼ達成	
		37 多摩区・3大学連携事業	<b>【企画課】</b> ◆「多摩区・3大学連携協議会」の取組を通して、大学と地域の交流促進を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を行うため、以下の事業を実施。 ◆大学・地域連携事業の実施 ◆情報誌たまなびnewsの発行(1回) ◆たまなびのInstagramを活用した情報発信 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での実施(たまなびプログラム)は見送ったものの、Instagramを活用した区内の魅力発信を実施しました。 ◆2021多摩区3大学コンサートの実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での実施は見送ったものの、各大学のコンサート動画を多摩区ホームページ(YouTubeチャンネル)で公開し、Web上で市民が閲覧できるようにしました。 ◆3大学協議会(3回)、たまなびnews編集会議(1回)の実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、Zoomでの開催としました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、一部事業については対面での実施は見送ったものの、オンライン(Zoom会議やYouTubeチャンネル、Instagram等)を活用することで、大学生の地域参加に繋がる取組及び地域の課題解決に向けた取組を実施することができました。  <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> 「大学・地域連携事業」では、フィールドワーク活動等を通じて市民と交流を図ることで、地域課題解決に向けたより実践的な取り組みを行うことができたという意見がありました。	3 目標を ほぼ達成	

【基本目標2】-【基本方針2 地域の支え合い活動の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標2】 多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針2】 地域の支え合い活動の推進	38 地区カルテを活用した地域づくり	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆多摩区地区カルテの定期更新(3月) ◆多摩区地区カルテのホームページ公開(3月) ◆共通フェイスシートのホームページ公開(4月)	<b>【区役所の評価】</b> ◆各地区の地域づくりワークショップ等において、議論のきっかけとする材料として、地区カルテ共通フェイスシートを活用しました。また、庁内職員を対象とした地域づくり勉強会等においても、同資料を活用して各地区の地域特性などについて、情報共有を行いました。引き続き、住民と地域の概況や課題を共有するためのツールとして活用を検討していきます。	3 目標を ほぼ達成
		39 地域包括ケアシステムの推進 地域暮らし	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施《登戸地区》 11月29日「のぼりとミーティング」開催 会場とZoomを併用し、17団体、19名出席 コロナ禍における活動継続・再開についての講演 /各団体の活動内容や現状を共有 《中野島地区》 5月24日コアミーティング実施 令和2年度にヒアリングを実施した団体を中心に実施 →「協議会のテーマの明確化」に取り組むことが決定 11月1日、15日、12月13日協議会実施 各回約14団体、約20名出席 (2月21日は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) ◆7月18日「コロナ禍でのつながりづくり～できない“から”できる“へ～」講演会開催。29名参加。 ◆10月20、27日、28日「シニア向け！初めてのかんたんスマホ・Zoom講座」実施。神奈川県「新しい生活様式におけるコミュニティ再生・活性化モデル事業」を活用、計34名参加。 ◆「地域の居場所」を見つけるきっかけづくりとして「～地ケアフォーラム～「地域の居場所」探し！」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ◆庁内の連携体制推進に向けて、区役所職員を対象に「地域づくり勉強会」を4月26日に開催。18名参加。	<b>【区役所の評価】</b> ◆登戸地区及び中野島地区では、様々な主体の参加のもと、それぞれの地区のネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、参加団体同士の交流を促し、より一層基盤の安定を図ることができました。 登戸地区では会場とZoomを併用することでコロナ禍でも参加しやすい環境を整えることができていました。また、講演内容や参加者同士の情報交換について、「参考になった」「分りやすかった」との評価を得ることができましたが、「情報交換の時間が短い」との意見もあったことから、令和4年度では情報交換をメインにした取組を実施する予定です。 中野島地区では、地区の強みや課題について、フォトボイス(参加者が撮影した写真を活用する、参加型の問題提起手法)や地図を活用し意見交換を行いました。参加者からは「情景や場所について、共有できてよかった。」との意見をいただきました。令和4年度は、参加者の投票で決定した優先的に取り組む課題について、検討する予定です。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆コロナ禍で様々な集まり(カフェ・会議)などが中止になり、地域で集まるのが難しいとの地域の声をいただいたことから、「コロナ禍でのつながりづくり講演会」を開催しました。参加者アンケートでは「本講演会に参加したことで、新たなつながりづくりのきっかけになった」との評価をいただきました。 ◆スマホなどを持っている方と持っていない方の情報格差という問題が浮かび上がったことから、上記の講演を引き継ぐ形でスマホ・Zoom講座を開催。募集定員以上の人からの申込があり、多くの反響がありました。参加者からは、「スマホを学びたいと考えていたが、きっかけがなかった」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
		40 地区社会福祉協議会との連携	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆中野島地区の取組を地区社会福祉協議会広報誌に掲載(1月号) ◆菅地区の取組について菅地区社協と意見交換実施(11月8日)	<b>【区役所の評価】</b> ◆5地区の地域づくりの取組を進めるにあたり、中野島地区における地区社会福祉協議会広報誌への掲載や菅地区における地域づくりの取組について意見交換を行うなど、連携を図ることができました。 <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆菅地区社会福祉協議会から、(仮)TeamSUGE地ケアプロジェクトを実施することによる、横のつながりに期待しているという御意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成



### 【基本目標3】—【基本方針1 支援につながる仕組みづくり】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標3】 見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針1】 支援につながる仕組みづくり	高齢者 41 ひとり暮らし等高齢者見守り事業	<b>【高齢・障害課】</b> ◆区では、民生委員児童委員の御協力のもと、介護保険サービス等を利用していない75歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の高齢者約8,200名を対象に生活状況調査を行いました。また、調査で得られた情報は、個人情報保護に配慮しながら、必要に応じて地域包括支援センターと共有し、孤立等のリスクのある高齢者の早期発見・実態把握や支援につなげるなどの活用を図ることとしました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆区では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から調査方法を訪問調査から郵送調査に変更したほか、民生委員児童委員が未回答者へ訪問する回数についても、できる限り感染リスクを減らす目的で2回から1回に変更して実施しました。また、今回から、調査結果の共有先に地域包括支援センターを追加し、区、民生委員児童委員及び地域包括支援センターとの連携の強化を図ることができました。調査に当たった民生委員児童委員の方からは、感染リスクが伴う未回収者への訪問調査について見直しを求める意見があったほか、地域包括支援センターからは、今後、調査結果を有効に活用していくための調整が必要との課題があげられました。	3 目標を ほぼ達成	
		防災 42 災害時要援護者避難支援制度	<b>【危機管理担当】</b> ◆川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。(令和4年3月登録件数: 739件)	<b>【区役所の評価】</b> ◆個人情報に配慮し、適切に送付しました。	3 目標を ほぼ達成	
		地域暮らし	43 川崎市地域見守りネットワーク事業	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆通報件数5件 (内訳:外出中3件、生活実態なし1件、在宅確認1件)	<b>【区役所の評価】</b> ◆住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。	3 目標を ほぼ達成
			44 民生委員児童委員の活動支援	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆令和3年度は推薦区会を3回開催し、新規に7名を委嘱し、新任民生委員児童委員研修会を3回開催しました。(3月末時点で欠員16名/定員241名) ◆欠員地区解消のため、町会連合会での説明、依頼文の送付、電話での状況確認等を行いました。 ◆活動支援の一環として、市民向けに庁内デジタルサイネージでの広報映像の掲載(映像3件)、地ケア広報誌への記事掲載(2回)、地ケアパネル展示に民生委員紹介パネルの設置(2月17日～25日)を行いました。 ◆市民からの相談や依頼があった際には、内容に応じて民生委員児童委員と情報共有しました。	<b>【区役所の評価】</b> ◆欠員区域のある町内会・自治会等に継続的に候補者の推薦依頼を行ったことで、新規に7名を委嘱し、欠員を補充することができました。 ◆新任民生委員児童委員研修会の開催や、市民からの相談・依頼に適切に対応することで、民生委員児童委員の活動が円滑に行えるように支援することができました。 ◆様々な媒体を活用した広報を行い、幅広く民生委員児童委員活動への関心や理解を深めることができました。	3 目標を ほぼ達成

【基本目標3】-【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標3】見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】区民・団体・民間・行政の連携	子ども子育て	45 多摩区子ども総合支援連携事業	<p>【地域ケア推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子ども総合支援連携会議を6月3日に開催当初2回の会議を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回を会議室及びZoomのハイブリット形式で開催、1回を中止。</li> <li>◆子ども子育て支援講演会を2月1日に開催当初開催予定の地区会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。代替として、子どもの権利条約施行20年を迎え、子ども権利への理解をより一層深めるため、「子どもの権利について考えてみませんか」をテーマに講演会を録画配信により開催。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子ども総合支援連携会議を通じて、コロナ禍での事業の実施状況や今後の取組、アイデア等の情報を収集し、子育てに関わる機関・団体と共有しました。</li> <li>◆子ども子育て支援講演会のテーマについては、子ども総合支援連携会議の議題とし、テーマを選定しました。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。</li> </ul> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆参加者からは、「どのようにすれば、伝えられるのか、理解に繋がるのかという点について学ぶ事が出来、常に子どもの権利に関して考えていく意識が高められたと思います」との意見をいただきました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			46 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	<p>【地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区代表者部会は「地域のネットワークにおける協働した支援のあり方」をテーマとした全2回の連続講座を行いました。第1回(8月3日)は施設長向けに講演会を実施し26名が参加。第2回(12月22日)は実務者向けに講演会+グループワークを含めた研修会を実施し、34名の参加がありました。</li> <li>◆連携調整部会は、児童相談所と区役所が参加し毎月1回実施しました。うち年3回は多摩区内の全要対協ケースについての確認を行いました。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区代表者部会では、コロナ禍でしたが参加者からの要望の多かったグループワークを組み込んだ研修会を実施することができ、連携を強化することができました。</li> <li>◆連携調整部会では、ケース支援に滞りがないよう確認、共有することができました。</li> </ul> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ禍だったが開催していただけて良かった。</li> <li>◆要対協を改めて理解できた。</li> <li>◆グループワークを通して、関係機関に対する理解が深まった。</li> <li>◆自身の仕事の振り返りになった。</li> <li>◆このような研修をもっと実施してほしい。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			47 子ども子育て推進事業「ママとあそぼうパパもね！」	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新型コロナウイルス感染症拡大のため中止していましたが、1月から3月は感染対策を講じて計画しました。感染症拡大により2、3月は中止になり1月の2地区のみ実施(計2回37名参加)。保育所職員、主任児童委員は感染防止のため欠席。保育所等・地域連携の職員が実施しました。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆感染対策として10組までの予約制にしたところ、申込開始後すぐに定員に達しました。参加した地域の親子からは地域の親子の交流の場となり、継続して参加したいと好評を得ています。</li> <li>◆主任児童委員と園職員が対面での支援ができないため、連携の強化に向けて工夫していくことを検討していきます。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			48 多摩区幼・保・小連携事業	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ禍のため、児童、職員が小学校等に直接訪問する対面交流はできませんでしたが、実務担当者会議はオンライン形式にて実施することができました。</li> <li>◆幼保小連携に関連した共通のテーマについて意見交換や情報共有ができました。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対面での交流が困難であったことから、一部事業をオンライン形式での実施しました。</li> <li>◆スムーズな接続のため学校紹介の画像を配信する代替事業を実施し、幼保小連携は概ね達成することができました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			49 民営保育所・保育施設等への訪問・連携	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆エリアの公立保育園を拠点とし、園長や民間連携担当者と保育総合係長とで民間園訪問を行い、園庭開放や公立保育園主催の職員担当別懇談会を案内し実施しました。訪問→67園</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆公立保育園を拠点として民間保育園所へ直接訪問することで顔と顔がつながり、関係の構築と地域ネットワークの強化を図ることができました。また、直接支援及び交流ができたことは保育の質向上にもつながることができました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			50 多摩区地域自立支援協議会	<p>【高齢・障害課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年24回企画運営会議、年16回相談調整会議を実施しました。企画運営会議は、基幹相談支援センターを中心に議事進行を行い、相談調整会議を行政が議事進行を行いました。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、相談調整会議は8回中止となり、また開催を予定していた定例会は書面開催となりましたが、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けて取り組むことができました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成
			51 多摩区精神保健福祉連絡会議	<p>【高齢・障害課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会(年1回)は「若者、思春期、青年期のメンタルヘルス」をテーマとし、会場での開催を予定していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会場での開催は見合わせ多摩区チャンネルを活用し、オンライン配信となり、312名の方が視聴されました。</li> </ul>	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、会場での開催ではなく、多摩区チャンネルを活用しオンラインでの配信となりましたが、事前に申込をいただいた方だけではなく、メンタルヘルスに興味関心がある方に広く普及啓発を図ることができました。</li> </ul>	3 目標を ほぼ達成

【基本目標3】-【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標3】 見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】 区民・団体・民間・行政の連携	高齢者	52 地域ケア会議 (個別ケア会議・地域ケア圏域会議)	【高齢・障害課】 ◆地域包括支援センターでは、高齢者が地域で安心してその人らしい生活を継続するため、区、介護支援専門員、サービス事業者及び医療機関等の参加による個別ケア会議を計29回、地域ケア圏域会議を計6回開催し、高齢者本人や御家族が抱える課題に応じ、様々な社会的資源を適切に活用できるよう取り組みました。	【区役所の評価】 ◆会議を主催する地域包括支援センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い対面での会議が困難な中、書面会議やオンライン会議での開催に努め、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組みました。 また、区では、各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題を把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みました。	3 目標を ほぼ達成
			53 多摩区相談支援・ケアマネジメント推進委員会	【高齢・障害課】 ◆区では、4月にオンライン形式にて介護支援専門員連絡会と地域包括支援センターの参加による推進委員会を1回開催しました。その後、12月に予定していた研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、区が主催する推進委員会は1回中止となりましたが、市主催の連絡会議や地域包括支援センター主催の調整会議の中で、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けて取り組むことができました。  【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆参加者からは、初めてのオンライン会議で準備に手間取ったという声や、新年度の人事異動後に顔を合わせながら交流できたことでお互いの距離が縮まった気がするなどの感想が聞かれました。	3 目標を ほぼ達成
			54 多摩区地域包括支援センター連絡会議	【高齢・障害課】 ◆区では、区内の各地域包括支援センターとの情報共有の場である連絡会を、予定どおり8月を除く計11回開催しました。なお、1月と3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催としました。	【区役所の評価】 ◆区では、区内の各地域包括支援センターとの緊密な連携体制の構築を目指して8月を除く毎月1回、年間計画どおり連絡会議を開催しました。地域包括支援センターが抱える課題を共有し解決に向けた検討を行うなどにより、高齢者支援施策の推進を図ることができました。	3 目標を ほぼ達成
			55 認知症訪問支援事業	【高齢・障害課】 ◆区では、医師会、訪問看護事業者、介護支援専門員連絡会及び地域包括支援センターを構成員とするチーム会議を2回開催し、関係機関の連携により3名の個別支援を行いました。なお、当初予定していた残り4回は、新規の支援対象者がいないため不開催としています。また、支援対象者の掘り起こしに資するよう、市民向けチラシを窓口に配架するなどの周知を行いました。	【区役所の評価】 ◆区では、医師、保健師、看護師、介護支援専門員等の専門職が、認知症が疑われる人やその家族支援を包括的、集中的に行い自立のサポートを行い、認知症の初期対応の強化に取り組みました。  【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆チーム員の一部からは、支援対象者を増やすために手続書類を簡略化してはどうかなどの意見があり、これを受けて、区は市に対し改善提案を行いました。	3 目標を ほぼ達成
		56 多摩区在宅療養推進協議会	【高齢・障害課】 ◆区は、医師会、病院・診療所、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター、介護サービス事業所等で構成される区在宅療養推進協議会に10月と12月の年2回参加し、在宅医療・介護連携を推進するための情報共有や令和5年度開催予定の市民シンポジウムの企画検討を行いました。なお、2月に予定していた回は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。	【区役所の評価】 ◆区では、在宅療養推進協議会の活動を通じて、高齢者が自宅や住み慣れた環境で療養できる体制づくりを目指して在宅医療・介護に係わる多職種連携の強化を進めることができました。  【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆協議会の参加者からは、関係機関のさらなる連携強化のため、メーリングリストによる情報共有について提案があり、新年度(令和4年度)から運用することとしました。	3 目標を ほぼ達成	
		57 多摩区支え合いのまちづくり推進会議	【地域ケア推進課】 ◆多摩区支え合いのまちづくり推進会議の開催(7月7日、2月25日(書面開催))	【区役所の評価】 ◆第6期多摩区地域福祉計画とその上位概念である多摩区の地域包括ケアシステムを推進するため、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見伺うことができました。	3 目標を ほぼ達成	
		58 多摩区健康づくり推進連絡会議	【地域支援課】 ◆多摩区の健康づくりの推進及び地域の健康課題に関する情報交換と連携を2年任期で年2回実施予定でしたが、コロナ禍で第1回7月14日(当日運営)、第2回令和4年2月(書面会議)年2回の会議を開催しました。年1回の開催と、書面会議へ変更。 ◆平成28年度川崎市健康意識実態調査において、多摩区の男性は飲酒する日の量が2合以上4合未満、4合以上どちらも川崎市で1位になっており、飲酒頻度では男性は毎日の飲酒割合が29.3%で市内で2位と多くなっています。そのため令和2年度から3年度は「肝臓の健康」をテーマに年1回の普及啓発講演会を開催。媒体を作成し、各関係機関や企業と連携し、普及啓発を実施しました。	【区役所の評価】 ◆10月13日「肝臓の健康～一人一人が今からできること」普及啓発講演会では予約13名、出席10名参加(20名定員)でした。市政だよりやチラシ等媒体を活用した啓発、肝臓週間に併せて(7月26日～8月1日)デジタルサイネージの活用を行い、病院、薬局、保育園、学校、公共機関等に6,000部印刷し、配布しました。また企業と連携をし、個別での配布による普及啓発も行い、3,000部配布した報告を伺っております。  【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆参加者からは、コロナ禍で日々ストレスが重なっている中で飲酒との関連はテーマとして良かったと好評でした。また企業からは、自分事として捉えられる機会につながっている方もいたと報告を受けています。	3 目標を ほぼ達成	

## 【基本目標3】-【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和3年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標3】 見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】 区民・団体・民間・行政の連携	地域暮らし	59 多摩区食育推進分科会	<b>【地域支援課】</b> ◆令和2年度と連動した「災害に備える食育の推進」をテーマに、対面形式で7月20日、書面形式で2月と年2回開催。 ◆食育推進分科会に関連した事業として、昨年度作成した啓発物やレシピをホームページやパネル展示(年2回)、子育てアプリ(年4回)等で啓発を実施。 ◆9月には、分科会委員の所属団体のスーパーマーケットで開催する防災キャンペーンに併せて、缶詰やパスタ等の備蓄可能な商品とともに、その商品を使ったレシピの掲示や、ポスター掲示を行い、来場者(延べ来場者数約15,000人)に啓発を実施。 ◆1月に食育推進分科会の委員の3名を講師とした子育て世代の非常食講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	<b>【区役所の評価】</b> ◆あらゆる手法を使用し、様々な対象の区民に備蓄の必要性や方法について啓発することができました。  <b>【連携した団体・区民等の評価/意見】</b> ◆今年度初めて、分科会委員及び所属のスーパーマーケットと連携しながら取組を実施しましたが、店長より、「配布したレシピ等に関心を持った方も多かったこと、そのまま食卓メニューにもつながったと感じている。」との感想もあり、実際の行動にもつながった様子でした。	3 目標をほぼ達成
			60 区社会福祉協議会との連携	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆区における5地区の地域づくりの取組及び区社会福祉協議会の事業について、情報共有及び意見交換を実施(6月29日)	<b>【区役所の評価】</b> ◆地域福祉活動を進めるにあたり、区役所及び区社会福祉協議会の事業・取組について情報共有を行うなど必要な連携を図ることができました。	3 目標をほぼ達成
			61 関係営業施設との連携	<b>【衛生課】</b> ◆食品衛生に関する資料を作成し、食品衛生協会から食品等事業者への配布を実施。	<b>【区役所の評価】</b> ◆これまでにあった相談等から関心が高く、また影響の及ぶ範囲が広いと思われる題材を中心に資料作成し、新しい情報がわかりやすく、広く伝わるように取り組みました。	3 目標をほぼ達成
		その他	62 庁内の各種連携会議	<b>【地域ケア推進課】</b> ◆区地域包括ケアシステム推進本部の開催(8月4日、3月23日) ◆区コミュニティ施策推進本部会議との連携(年3回)	<b>【区役所の評価】</b> ◆区地域包括ケアシステム推進本部において、区における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組や区地域福祉計画について情報共有を図ることができました。 ◆区コミュニティ施策推進検討部会において、地区カルテ等について周知を図ることができました。	3 目標をほぼ達成